

OISTER

Optical and Infrared Synergetic Telescopes for Education and Research
光赤外線天文大学間連携事業

教育事業について

-短期滞在実習ほか-

大朝 由美子 (埼玉大学)、高橋 隼 (兵庫県立大学)

2024.12.11 OISTER-WS

OISTER

Optical and Infrared Synergetic Telescopes for Education and Research
光赤外線天文大学間連携事業

OISTERの教育関連事業

教育事業

データ解析講習会 → 今? 次年度? せいめい-KOOLS解析講習会予定

短期滞在実習

装置開発講習会

教育効果も期待される取り組み

談話会 → 今? 次年度? 機会学習講習会予定

ワークショップでの学生発表賞

口頭発表賞 (博士課程学生の部)

越諒太郎 (東京大) 早期で発見されたII型超新星SN2024acnの可視光追観測

口頭発表賞 (修士課程学生の部)

樋口成和 (東京科学大) ブラックホールX線連星 MAXI J1820+070 ミニアウトバーストの可視近赤外線の高頻度観測

ポスター発表賞

反保雄介 (京都大) 円盤風を考慮した矮新星アウトバーストの可視スペクトル合成計算

間接的な取り組み

学部生観測実習の支援

OISTER

Optical and Infrared Synergetic Telescopes for Education and Research
光赤外線天文大学間連携事業

学部生観測実習の支援

兵庫県立大学の学部生向け集中講義「天体観測」(実習)に学外から参加者を受け入れるための資金援助を実施。

日程: 2024年9月2-4日 (2泊3日、合宿形式)

内容:

座学

観測

系外惑星トランジット (なゆた望遠鏡)

小惑星の自転 (60cm望遠鏡)

解析 (測光とライトカーブ作成)

発表

参加者36名

兵庫県立大から22名

学外から14名 (埼玉大、東京電機大、東京女子大、
法政大、静岡大、大阪大、奈良高専、宮崎大)

今年で2回目。需要は高そう。



OISTER

Optical and Infrared Synergetic Telescopes for Education and Research
光赤外線天文大学間連携事業

短期滞在実習: 概要

概要: 個人の希望に基づき、所属機関以外の望遠鏡や観測装置を利用してスキルを学ぶ、もしくは、観測装置や観測システムの開発に関わる機会を提供する

対象: OISTER機関に所属する大学院生・若手研究者

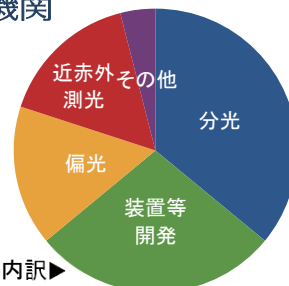
支援内容: 滞在のための旅費を支給(国内のみ)

滞在期間: 数日～1週間程度

滞在可能機関・施設: すべてのOISTER参加機関

これまでの実施件数

- 第1期 2013-2016年度 16件
- 第2期 2019-2021年度 6件
- 第3期 2022-2023年度 4件

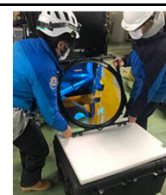


1-2期の実習テーマ内訳▶

応募者	テーマ	滞望(希望)先	使用装置(担当者)	滞在(希望)期間	進捗状況
市原晋之介 (京大, M1)	すばる望遠鏡の体験, また PFS を用いた晩期型星の可視多天体分光観測の提案	国立天文台 ハワイ観測所	PFS(森谷)	8/20-9/8	完了(報告書受領済み)
金井昂大 (埼玉大, D3)	すばる望遠鏡近赤外線観測装置 MOIRCS や ULTIMATE などの科学検討・実験実習	国立天文台 ハワイ観測所	MOIRCS・ULTIMATE (美濃和、田中 壱)	9/3-10/3	完了(報告書受領済み)
高山颯太	前主系列星候補天体の可視分光観測	兵庫県立大学	MALLS (本田、高橋)	25/01/13-17	これから
小柳 香, 高山颯太, 木村愛	YSO の可視光面分光観測	京都大学	KOOLS-IFU	25/01月末予定	これから

短期滞在実習: 国立天文台ハワイ観測所との連携	
OISTER Optical and Infrared Synergistic Telescopes for Education and Research 光赤外線天文台大学間連携事業	2015年度 OISTER WS (当時)有本ハワイ観測所長 招待講演 ～2023年度 NAOJハワイ観測所とOISTERとの連携を模索 研究の連携、教育の連携、両面から検討。 (当時)常田国立天文台長は前向き。
	2023/10/06 NAOJハワイ観測所&OISTER 学生教育懇談会 ハワイ：小山、岡本、美濃和、森谷 OISTER：太田、泉浦、川端、高橋隼、大朝
	2024/2月頃 (現)宮崎ハワイ観測所長と太田さんの間で 「教育プログラムは推進の方向」で合意
	2024/3/27 すばる-OISTER連携会議
	2024年度から本格的に実施へ
	2024/4～5月 フォーマットの検討 → OISTER短期滞在の一環とすることに → 募集要項の準備
	5/24 募集開始
	5/28 OISTER観測企画運営委員会+協議会 選考方法を議論

短期滞在実習: 国立天文台ハワイ観測所との連携



6/20 締切: 4件(修士3件、博士1件)の応募 → 2件「仮採択」
 7/17 金井さん面談、7/20 市原さん面談、両名とも正式に採択
 8/20-9/8 市原さん滞在
 9/3-10/3 金井さん滞在
 11/14 すばる-OISTER連携関係者らで振り返り → 次年度へ向けて

応募者	テーマ	滞望(希望)先	使用装置(担当者)	滞在期間
市原晋之介 (京都大, M1)	すばる望遠鏡の体験, また PFS を用いた晩期型星の可視 多天体分光観測の提案	国立天文台 ハワイ観測所	PFS(森谷)	8/20-9/8
金井昂大 (埼玉大, D3)	すばる望遠鏡近赤外線観測装 置 MOIRCS や ULTIMATE などの科学検討・実験実習	国立天文台 ハワイ観測所	MOIRCS・ ULTIMATE (美濃和、田中壱)	9/3-10/3

田中さん、美濃和さん、森谷さん、本当にありがとうございました★